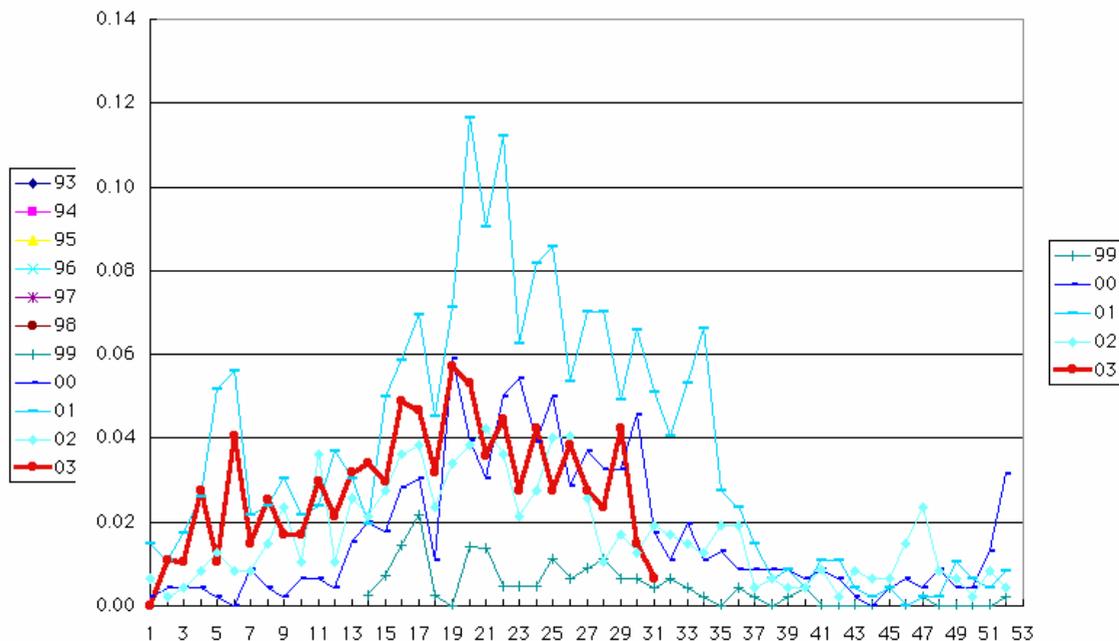
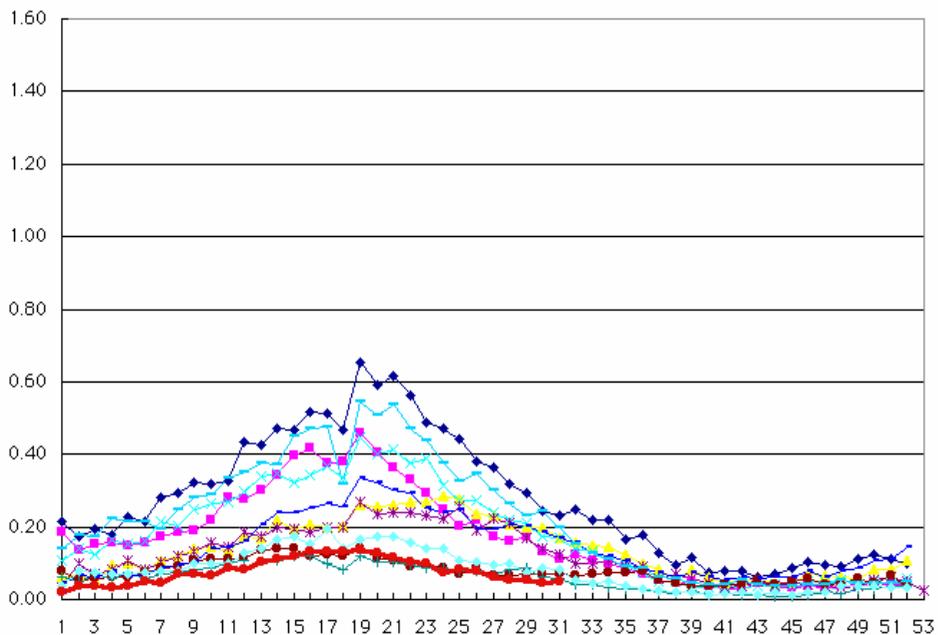


小児科定点あたり麻疹患者報告数

小児科定点：
全国約3,000の小児医療機関：

基幹病院定点あたり 成人麻疹（18歳以上）患者報告数

基幹病院定点：
全国約500の基幹病院：



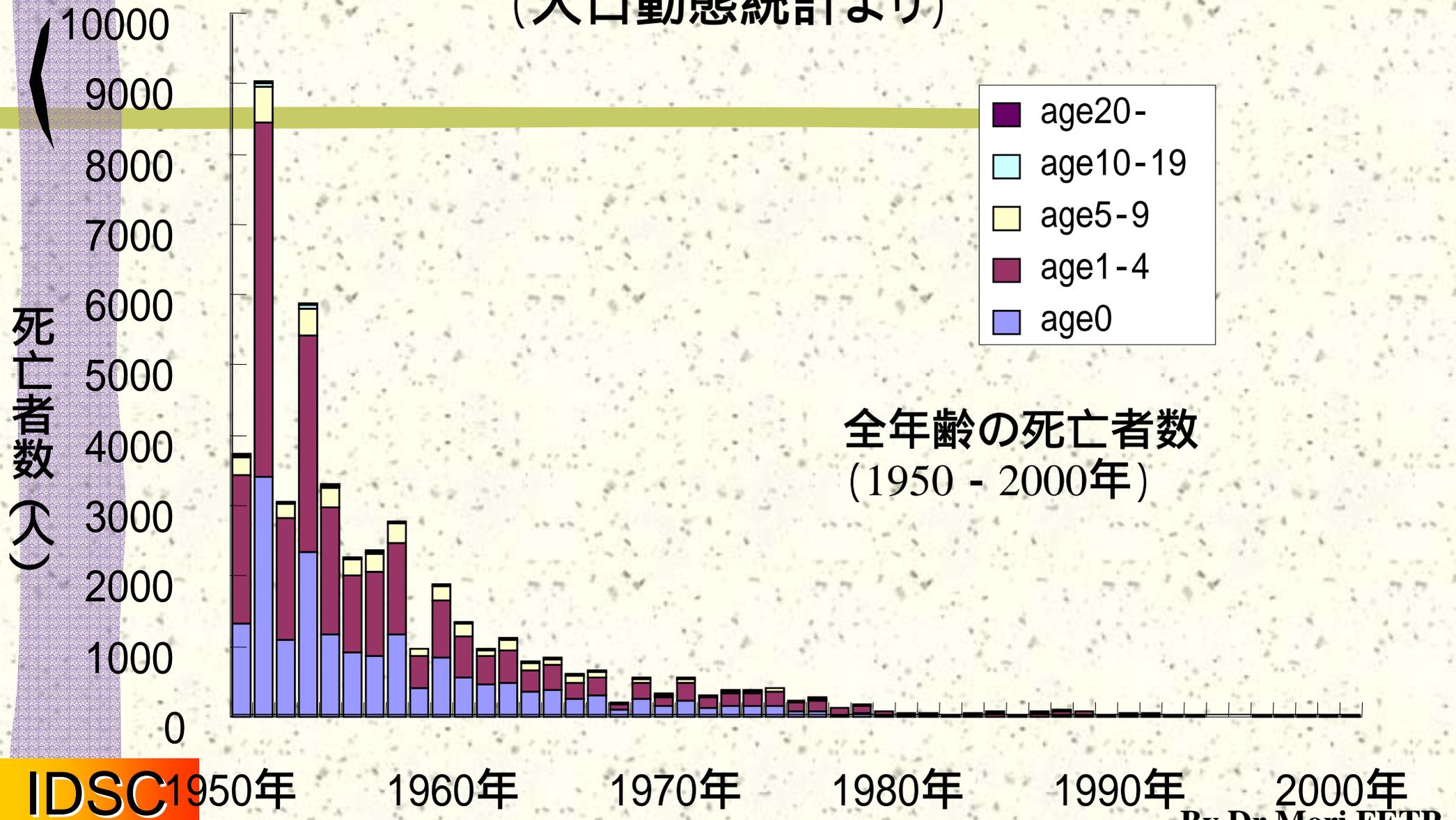
毎年第20週（5月下旬）頃がピーク

IDSC

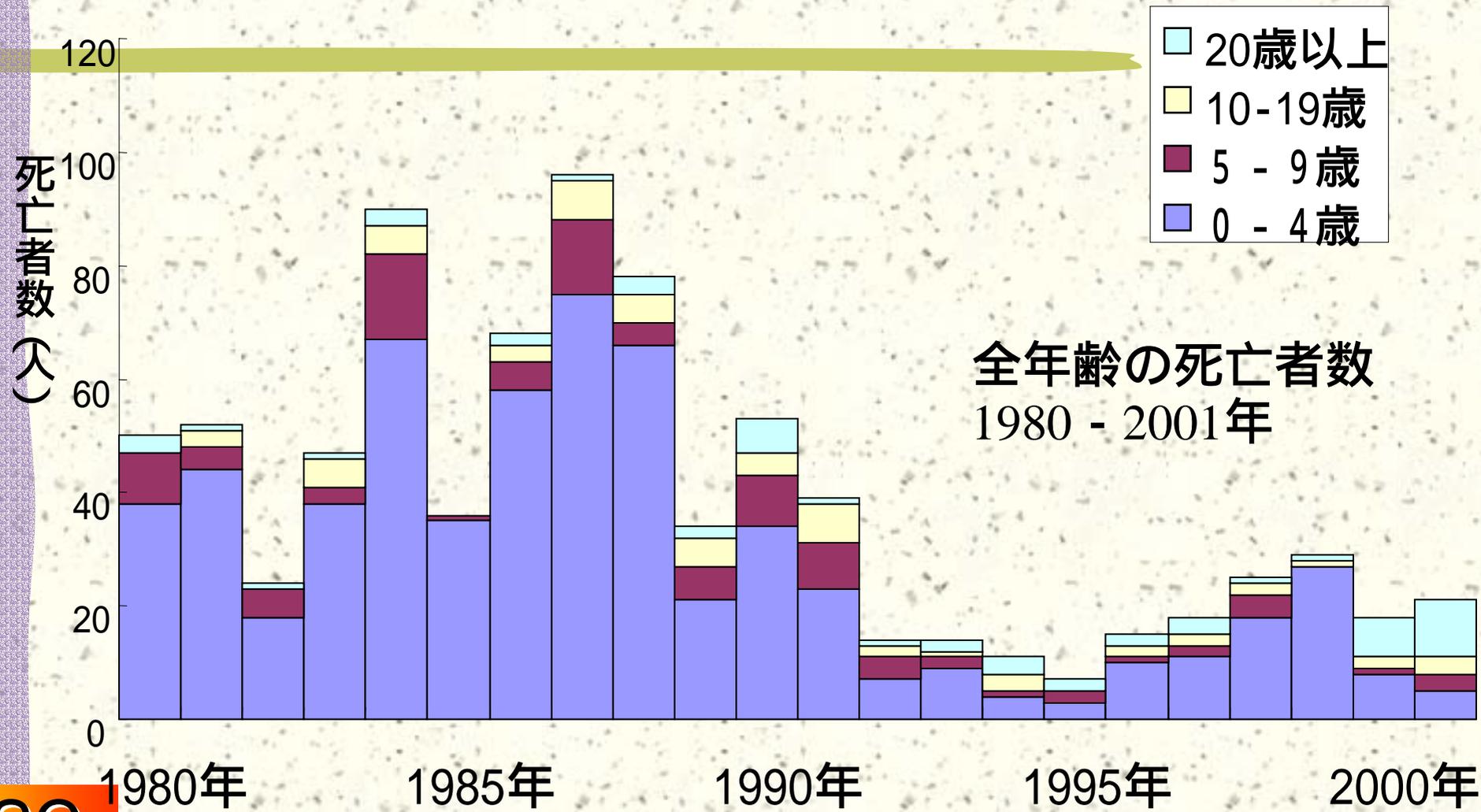
感染症発生動向調査より <http://idsc.nih.go.jp/kanja/weeklygraph/measles.html>

麻疹が死因の死亡者数過去50年間

(人口動態統計より)

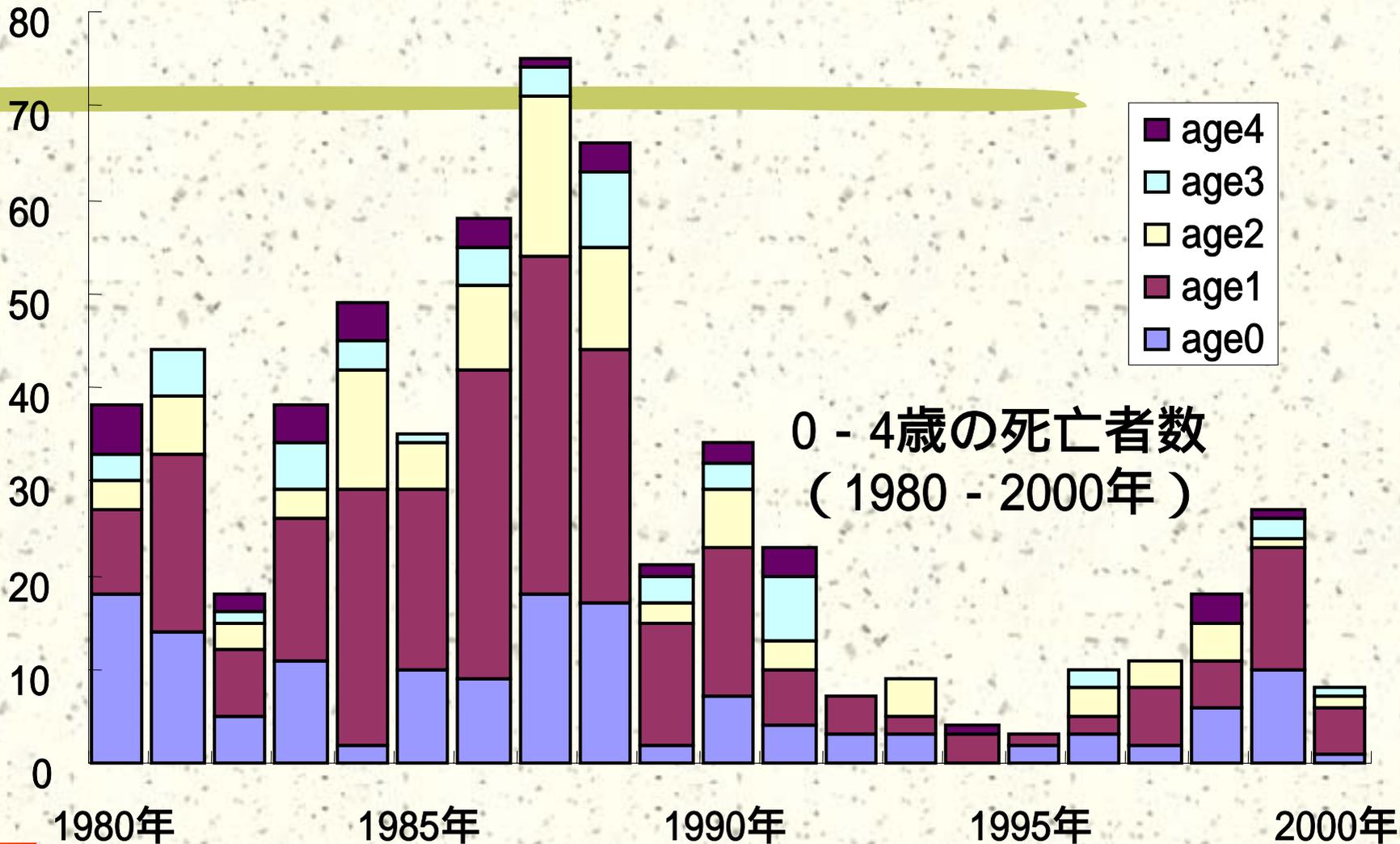


麻疹が死因の全年齢の死亡者数1980-2001年 (人口動態統計より)



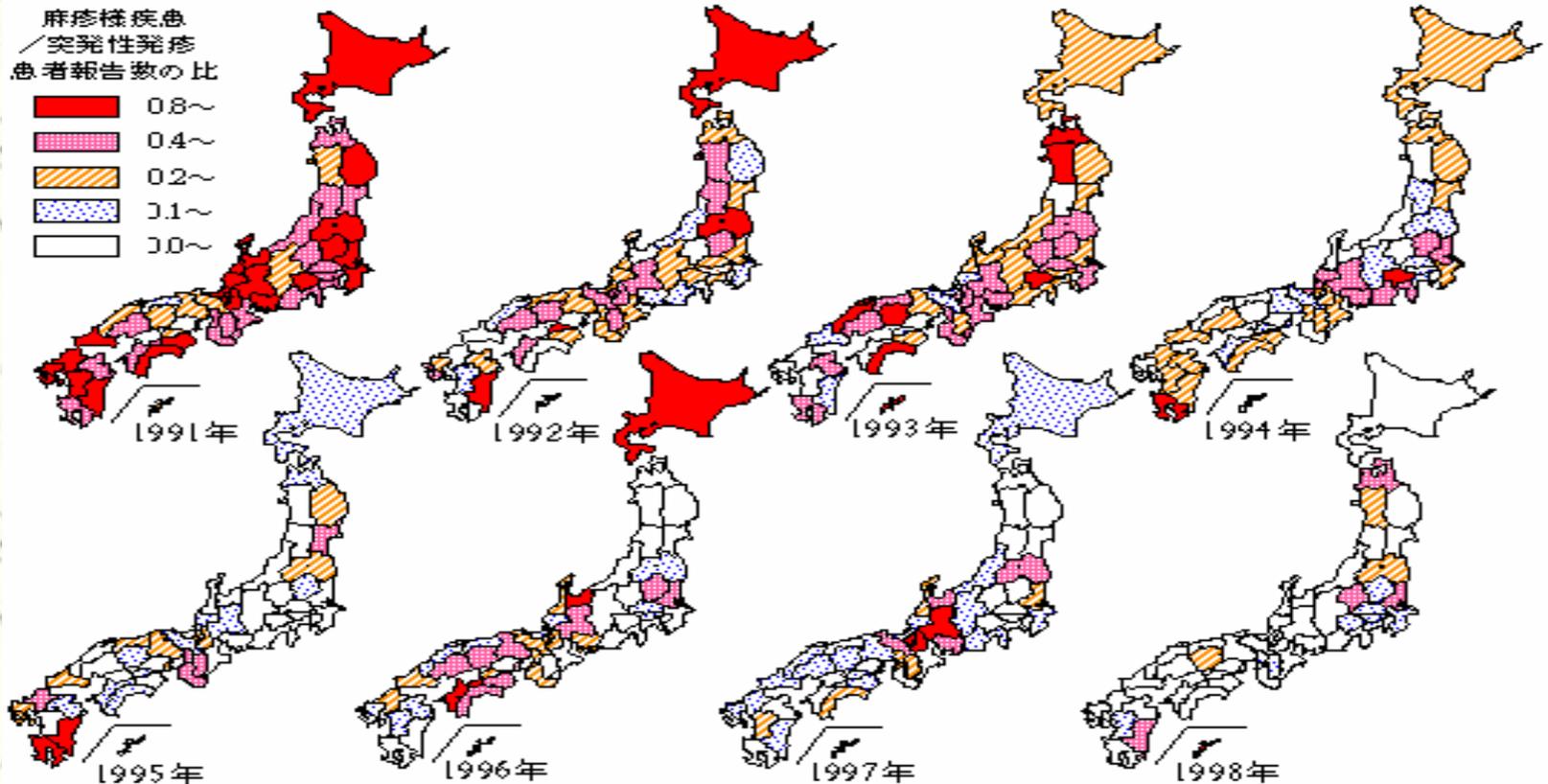
麻疹が死因の乳幼児死亡 1980-2000年（人口動態統計より）

死亡者数（人）



5～12年前の麻疹患者発生状況（1991-1998年）

図2. 都道府県別麻疹様疾患患者発生状況，1991年～1998年
 - 麻疹様疾患対突発性発疹患者報告数の比 - (感染症サーベイランス情報)

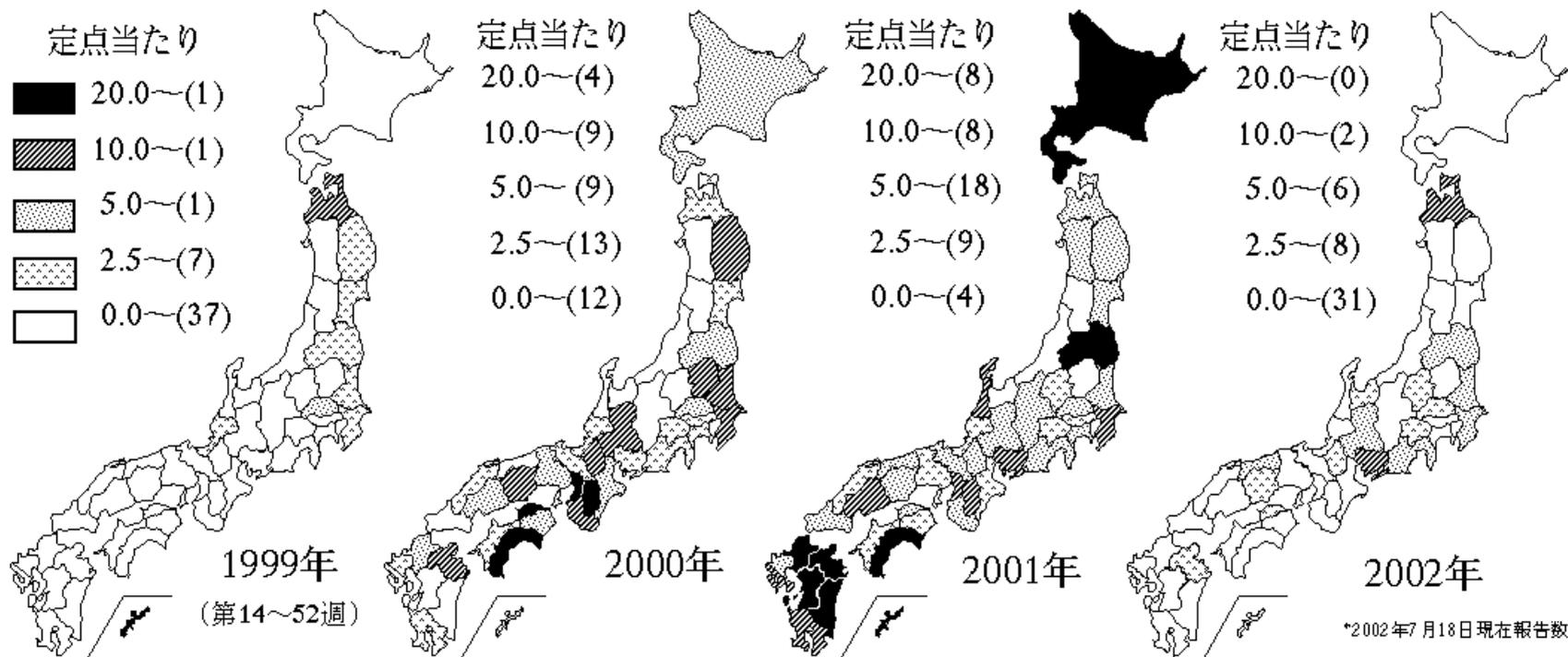


地域による報告定点数のばらつきを除くために、麻疹様疾患患者報告数を突発性発疹患者報告数で割った比を用いている。

都道府県別麻疹患者発生状況 感染症発生動向調査より

()内数字は都道府県数

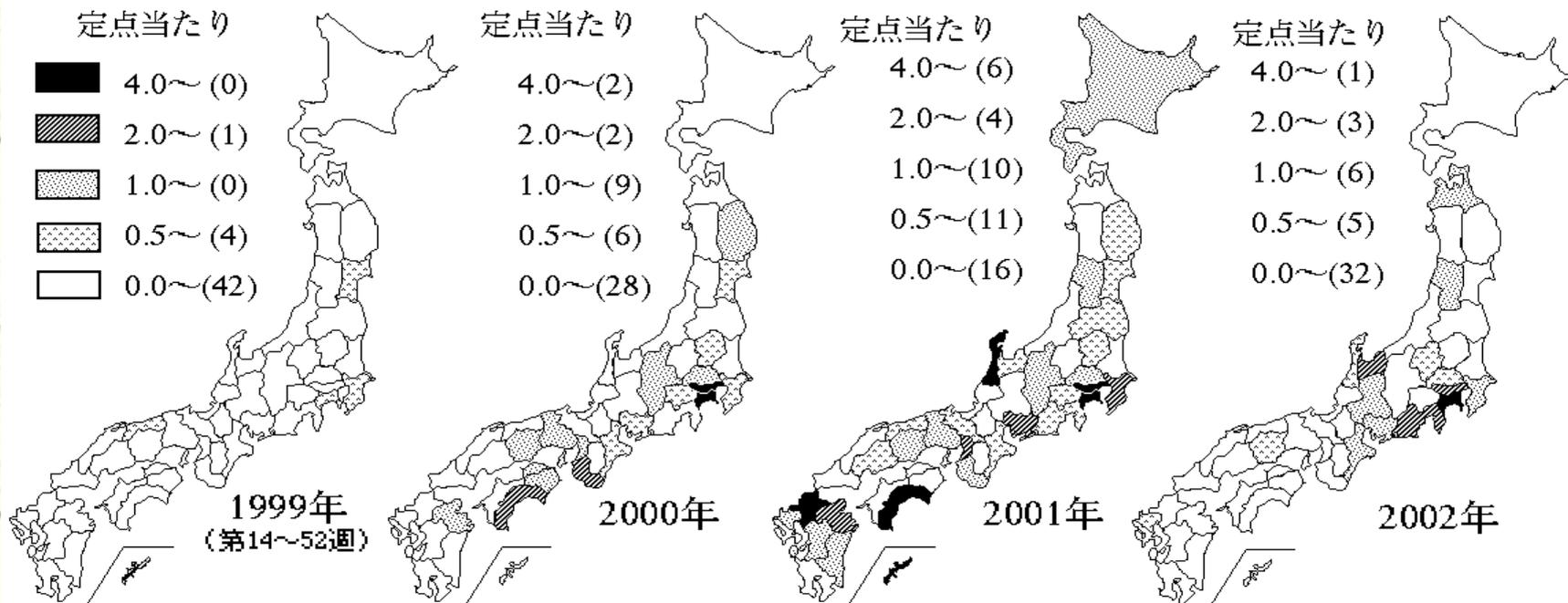
a. 小児科定点からの麻疹患者報告数



全国的な大流行ではなく、地域的な流行を示し、都道府県別に患者の多い県と少ない県が隣り合って存在する。

都道府県別成人麻疹患者発生状況 感染症発生動向調査より ()内数字は都道府県数

b. 基幹病院定点からの成人麻疹患者報告数



()は都道府県の数を示す。

*2002年7月18日現在報告数

•最近4年間では、2001年の患者報告数が最も多かった。

年齢別麻疹患者報告数 2001年

図5a 小児科定点からの麻疹年齢階級別患者報告数
(2001(平成13)年1週～52週累計) 感染症発生動向調査より

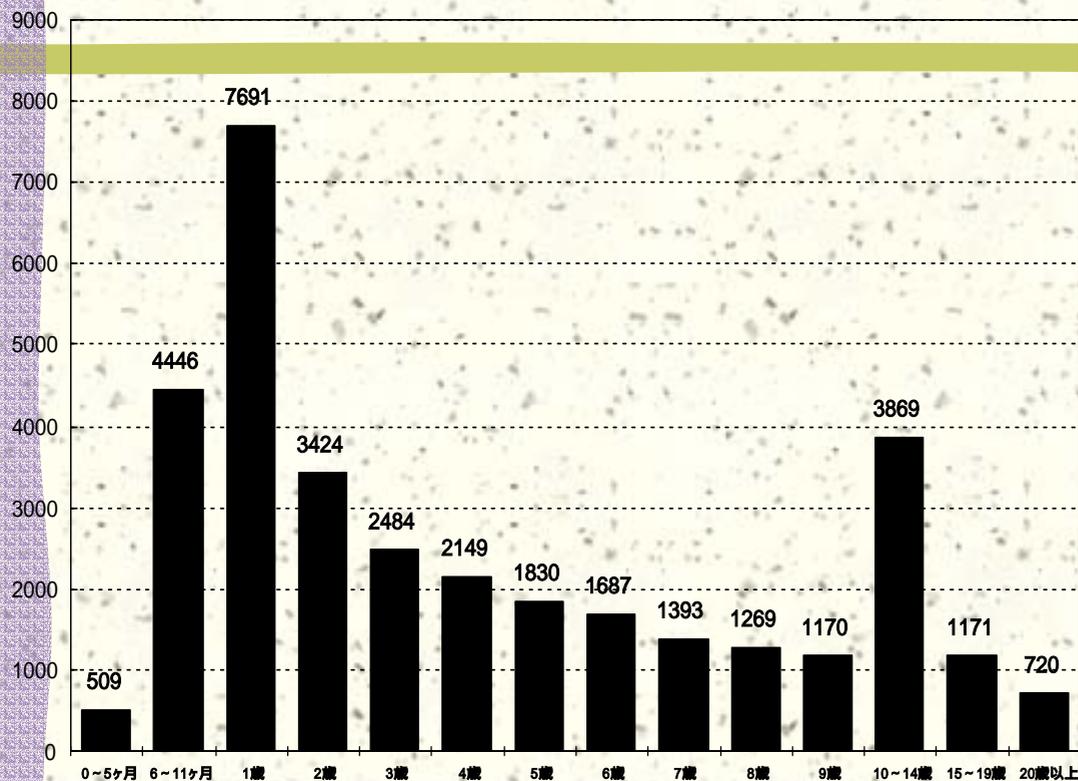
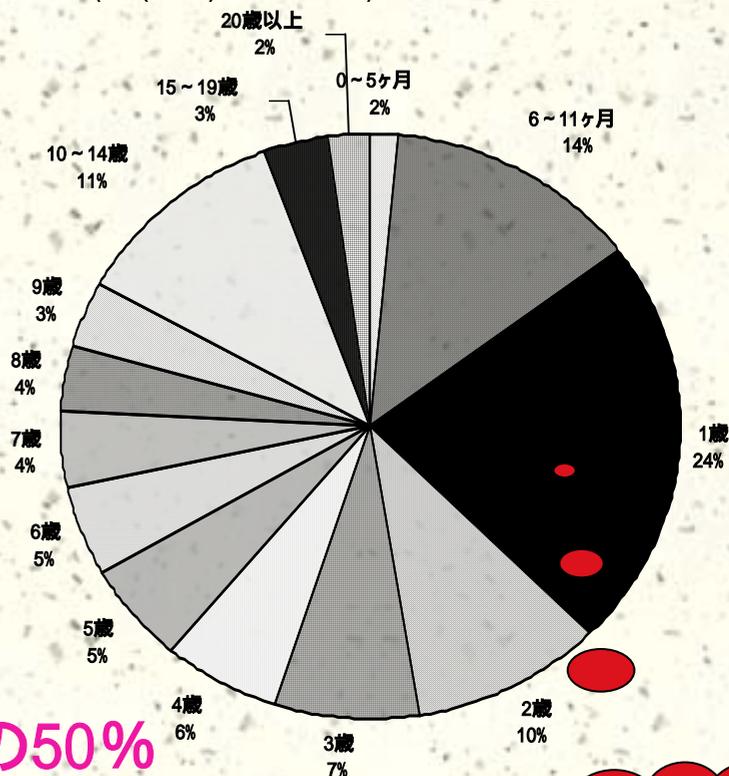


図5b 小児科定点からの麻疹年齢階級別患者報告数
(2001(平成13)年1週～52週累計) 感染症発生動向調査より



2歳以下が全報告数の50%
1歳児が24%で最も多い
定期接種対象年齢が約60%
10歳以上は16%



年齢別成人麻疹患者報告数 2001年

図9a 基幹病院定点からの成人麻疹年齢階級別患者報告数
(2001(平成13)年1週～52週累計) 感染症発生動向調査

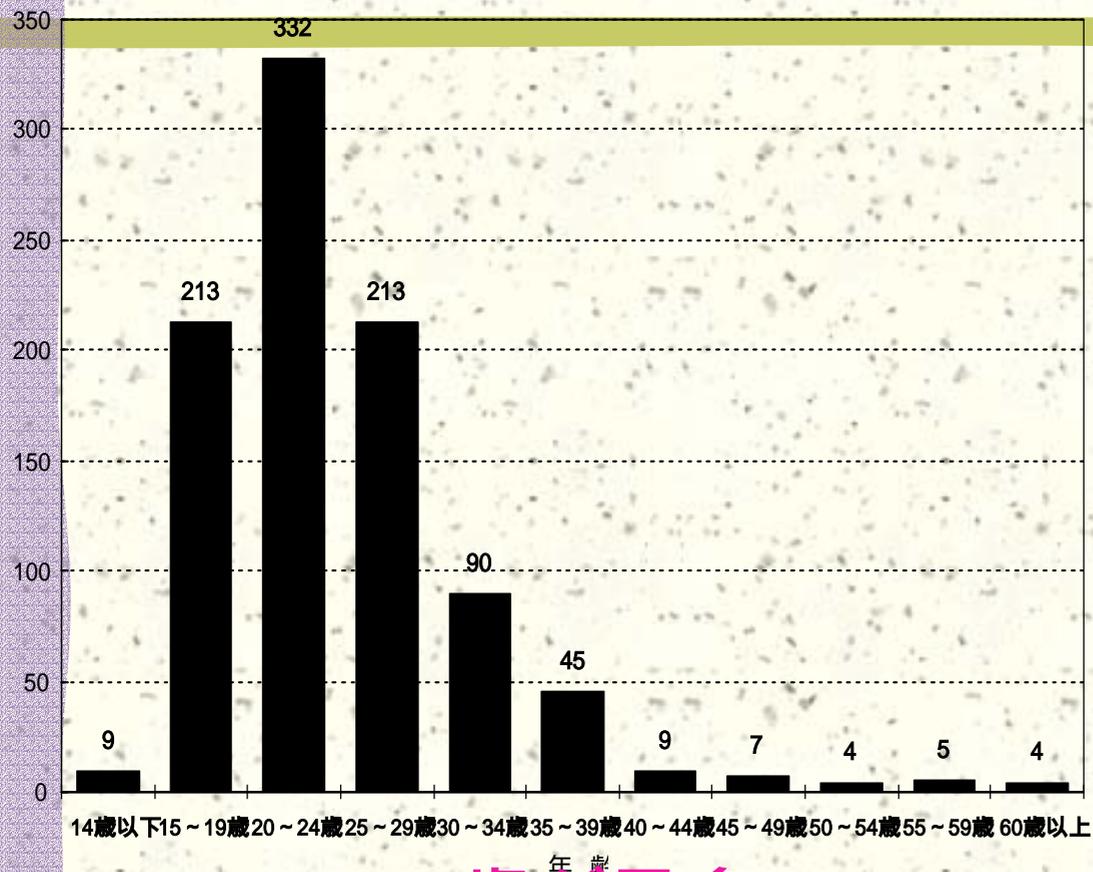
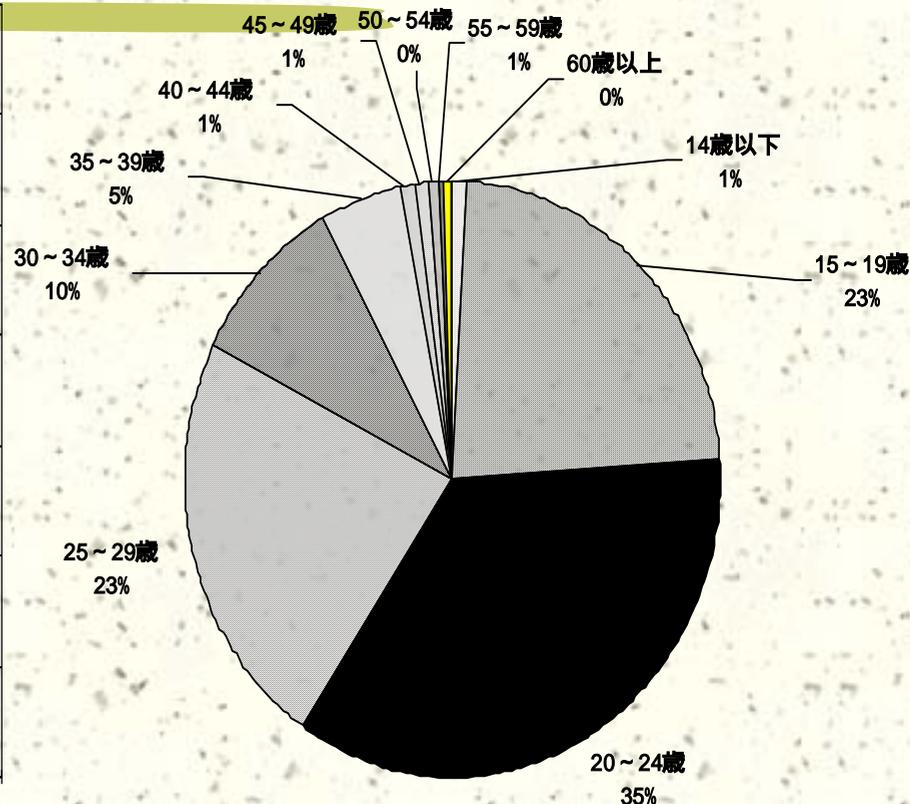
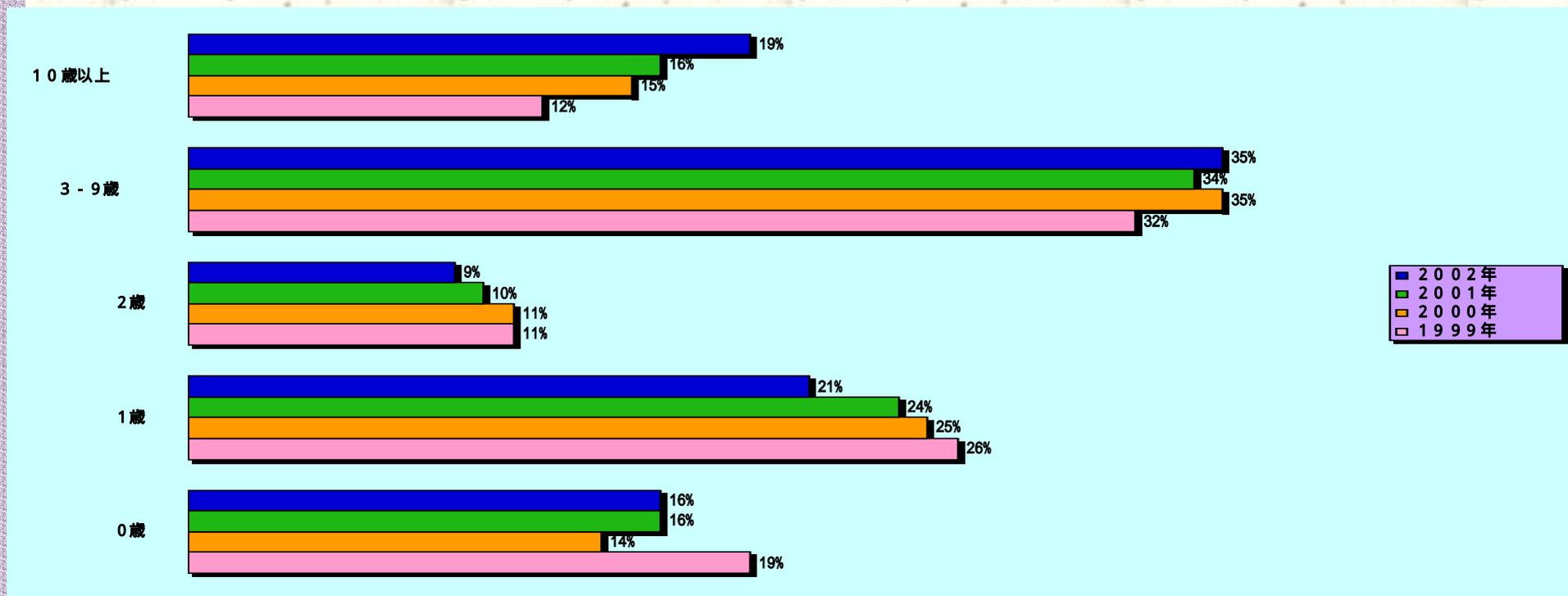


図9b 基幹病院定点からの成人麻疹年齢階級別患者報告数
(2001(平成13)年1週～52週累計) 感染症発生動向調査より



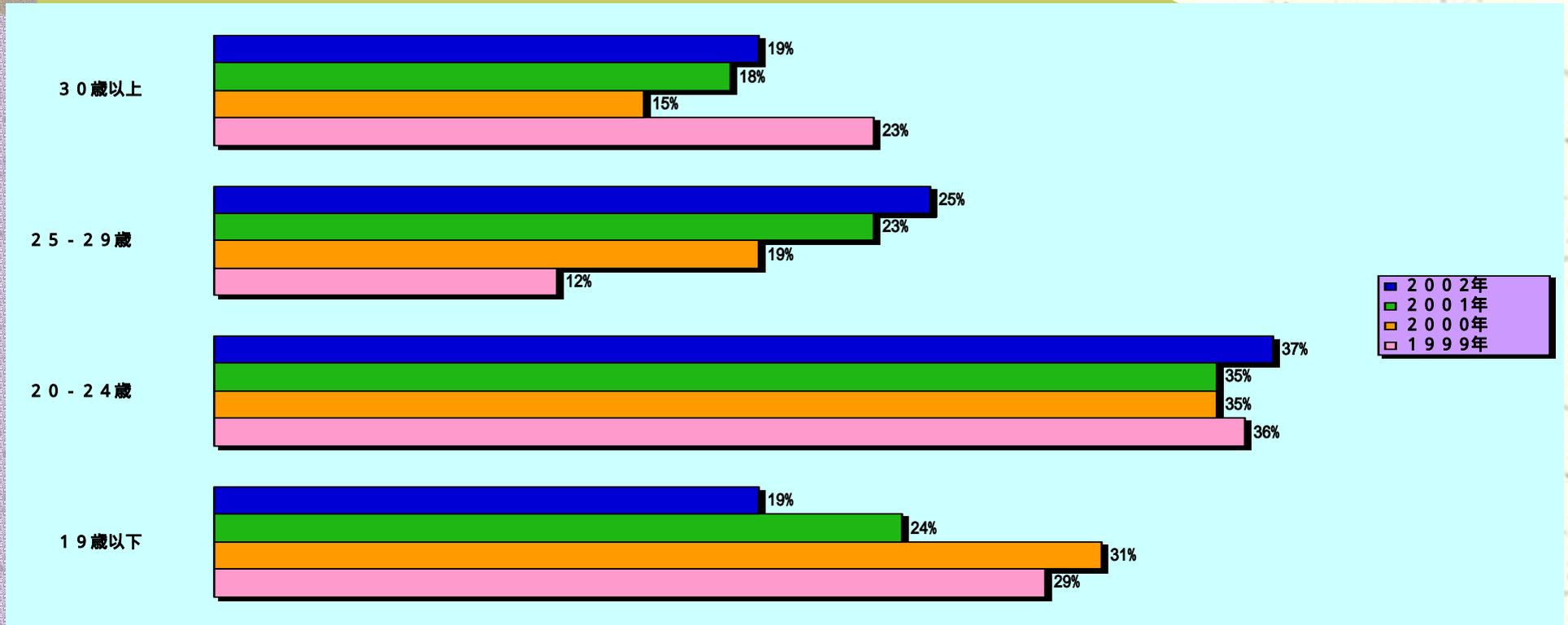
20-24歳が最多で35%、15-19歳群と25-29歳群は同じ
30歳未満で全体の82%を占める

年齢別 麻疹患者割合（1999-2002年、2002年は概数） （感染症発生動向調査による 全国約3,000の小児科定点からの報告）



1歳児の割合が26%から21%と全体の1/4から1/5を占める傾向は同じ
10歳以上の割合は全体の約1-2割。12%から19%とやや増加

年齢別成人麻疹患者割合 (1999-2002年、2002年は概数)



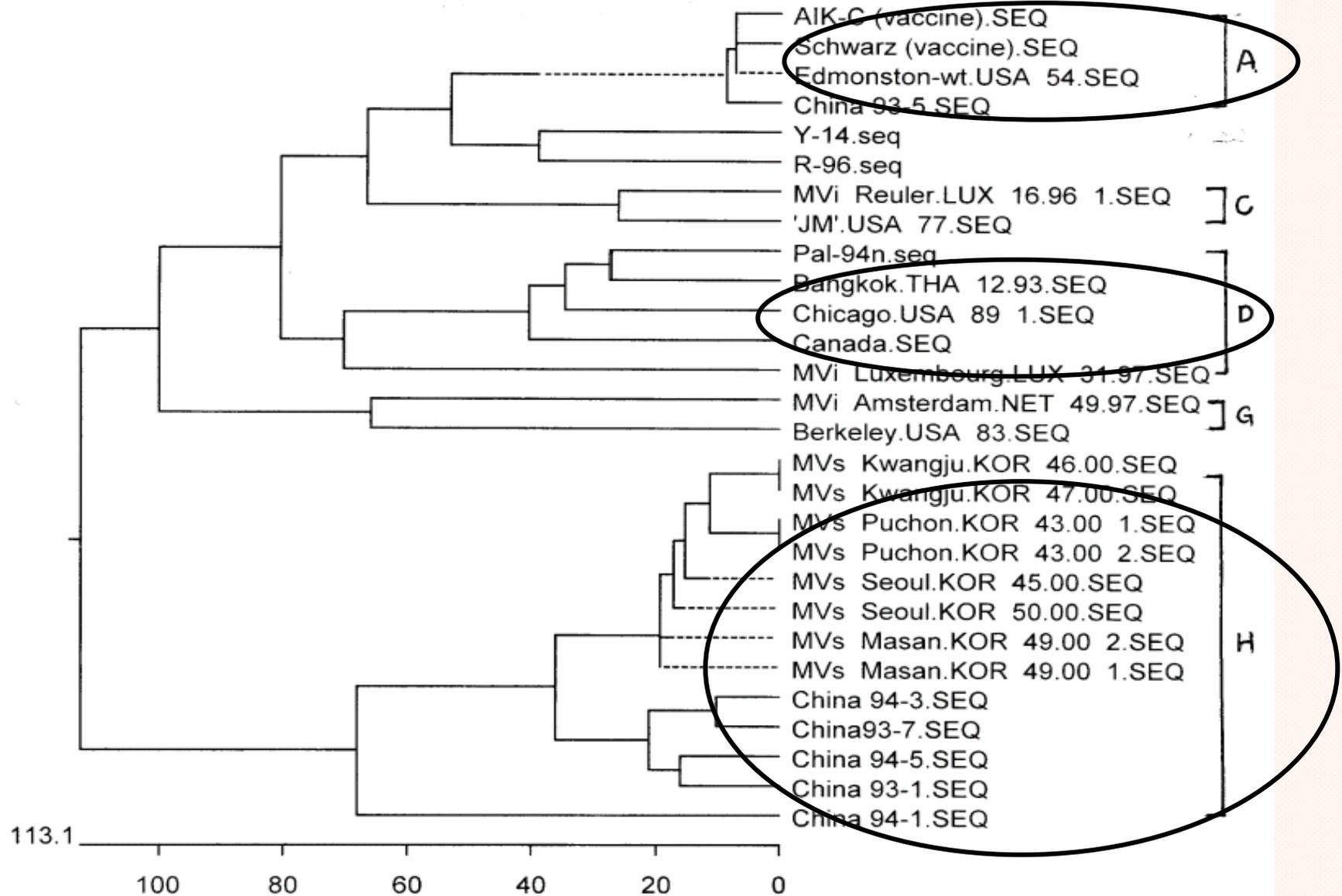
20-24歳の割合が35-37%で最多
25-29歳の割合が12%から25%に増加
19歳以下の割合が29%から19%に減少

麻疹ウイルスのgenotype：米国

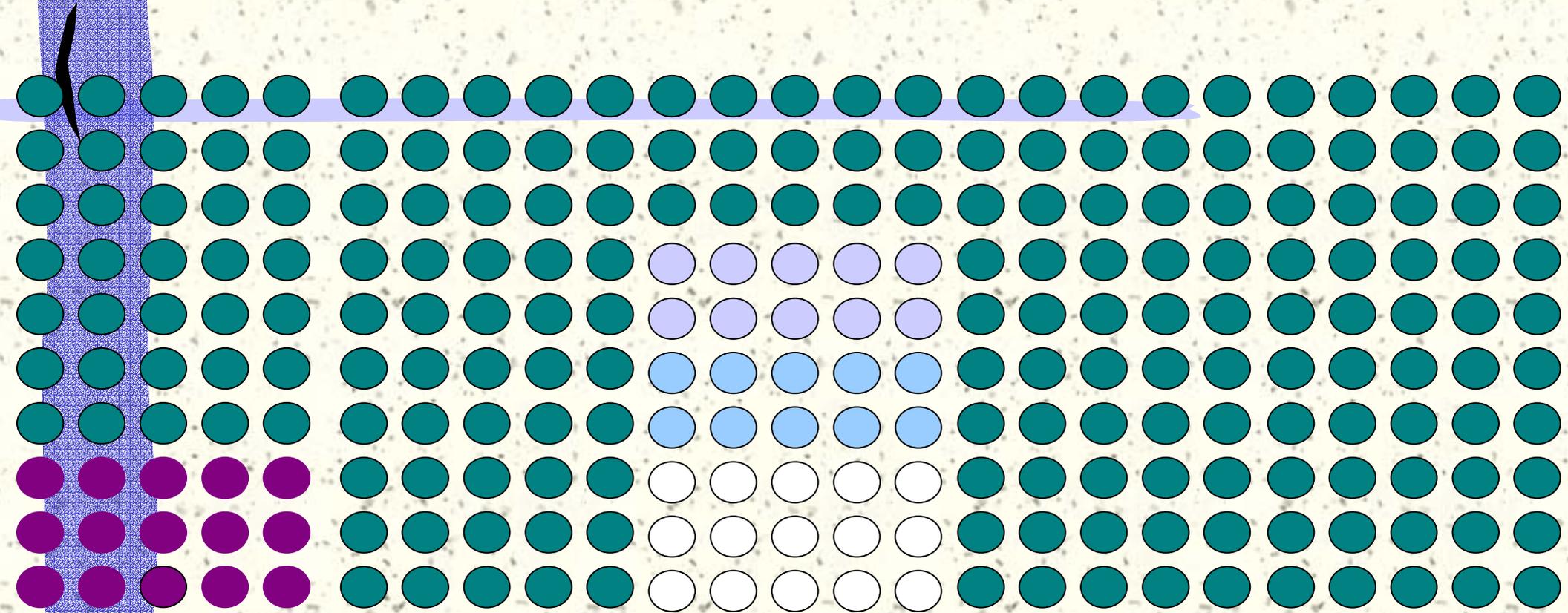
Genotype	Number ^a	Source ^b
D6	13	ヨーロッパ、ブラジル
D5	12	日本
D4	7	インド、ケニア、エチオピア、パキスタン
H1	7	中国、韓国
C2	2	ドイツ、ジンバブエ
D8	2	イタリア、英国
H2	2	ベトナム
D3	2	フィリピン
D2	1	アイルランド
D7	1	スウェーデン
G2	1	Unknown

※ H1株が主に流行している韓国では日本と同じワクチンを使用して、麻疹のコントロールが成功している。

麻疹ウイルス 22 genotype

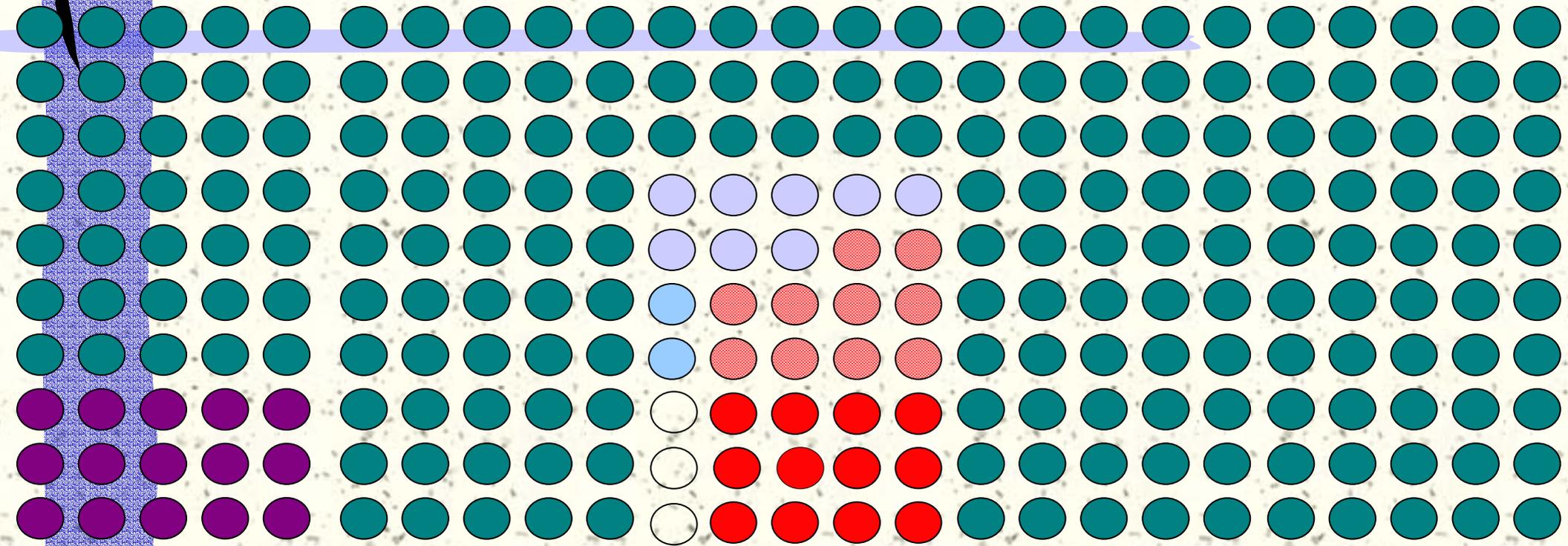


日本のある中学校：生徒数250人



- ● 日本の中学生ワクチン接種率 85%
- 既往歴有 5-10%
- 接種も既往もない人 5-10%

● ● 麻疹の患者さん



- ● 麻しんワクチンを接種した人
- 麻疹にかかったことがある人
- ワクチン接種したことも、麻疹にかかったことも無い人

感染症流行予測調査事業概要

～ 麻疹 ～

調査時期：当該年度の7～9月

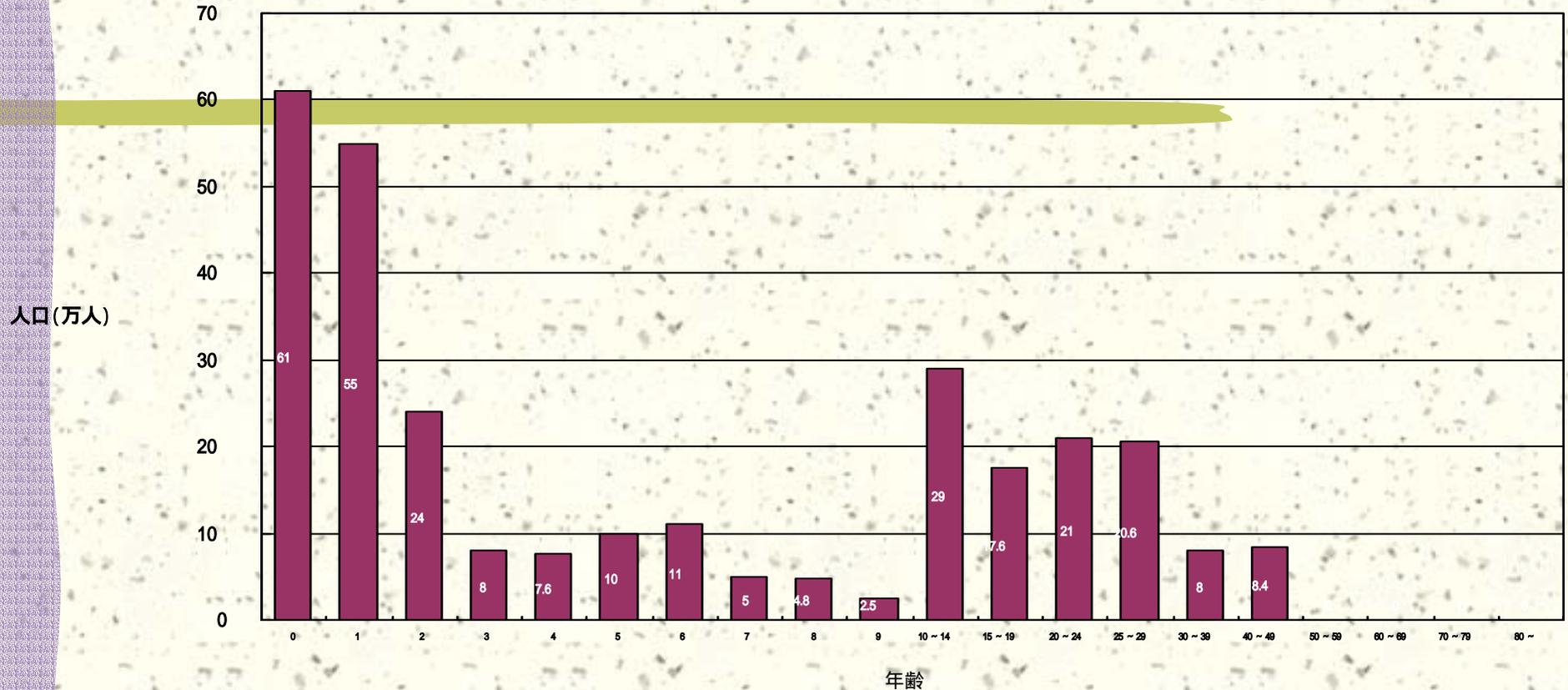
調査対象及び地区の選定：

栃木県、千葉県、新潟県、長野県、島根県、香川県、愛媛県、沖縄県につき一地区を選定。

年齢区分：0～1歳、2～3歳、4～6歳、7～9歳、10～14歳、15～19歳、20～29歳、30～39歳、40歳以上の9区分より各25名ずつ、計225名。

調査事項：血清中の麻疹ゼラチン粒子凝集抗体価（PA抗体価）測定。予防接種歴。生年月日、性別、採血日、職業、出生地、居住期間、外国滞在（国名）。

わが国の推定麻疹感受性者数 (2000年度感染症流行予測調査より)

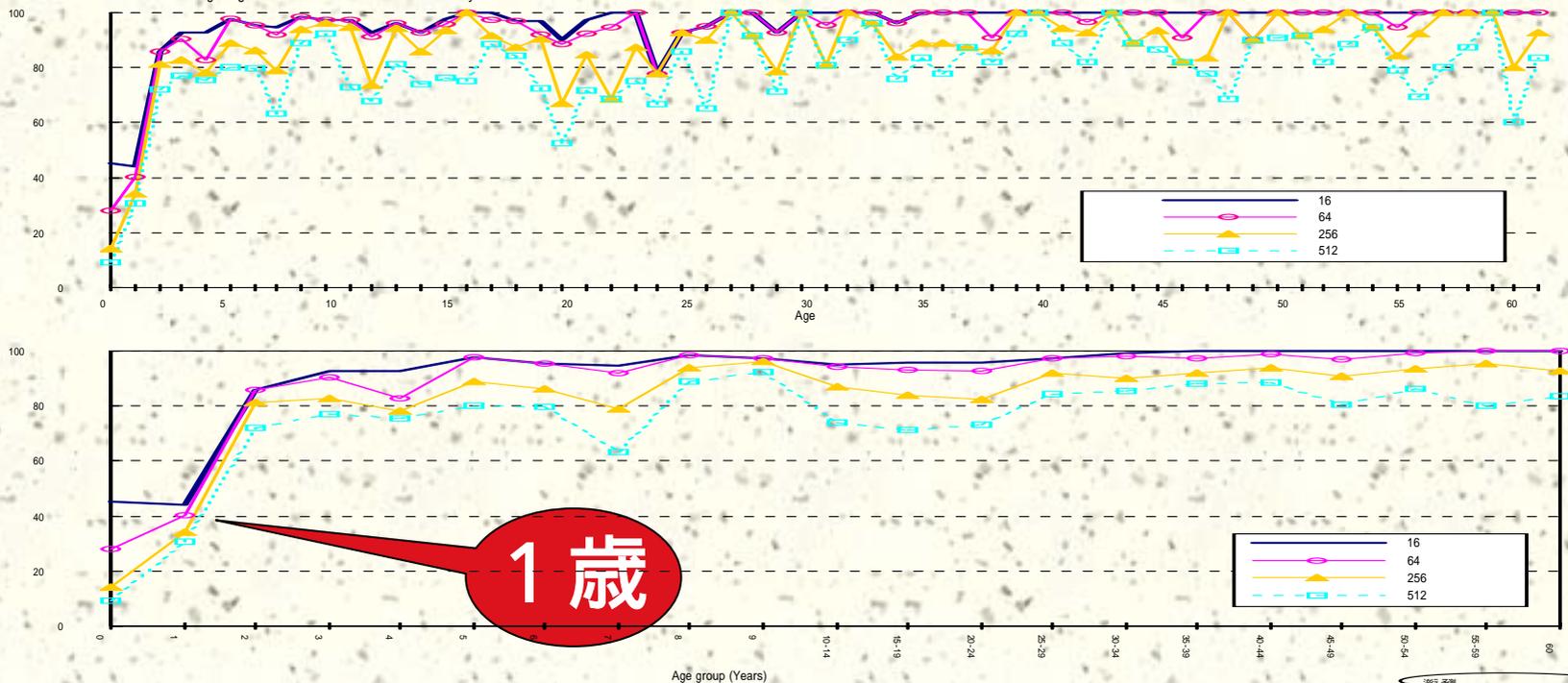


0-1歳で約100万人の感受性者！！

10歳代では約45万人、20歳代では約40万人の感受性者！！

わが国の健常人の麻疹PA抗体保有状況 (2001年度感染症流行予測調査より)

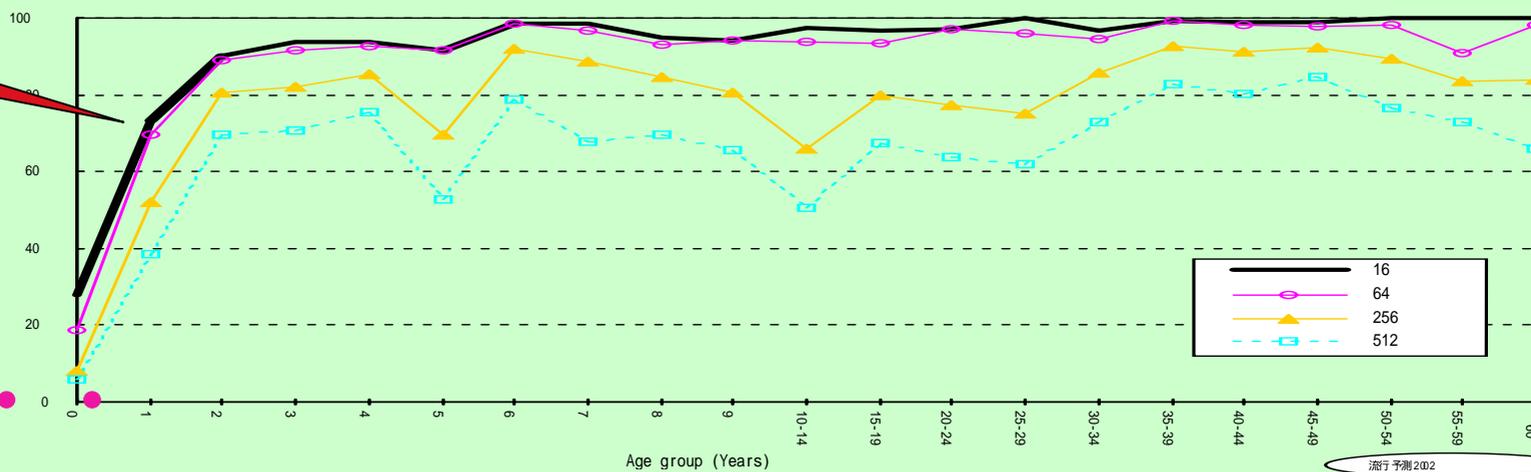
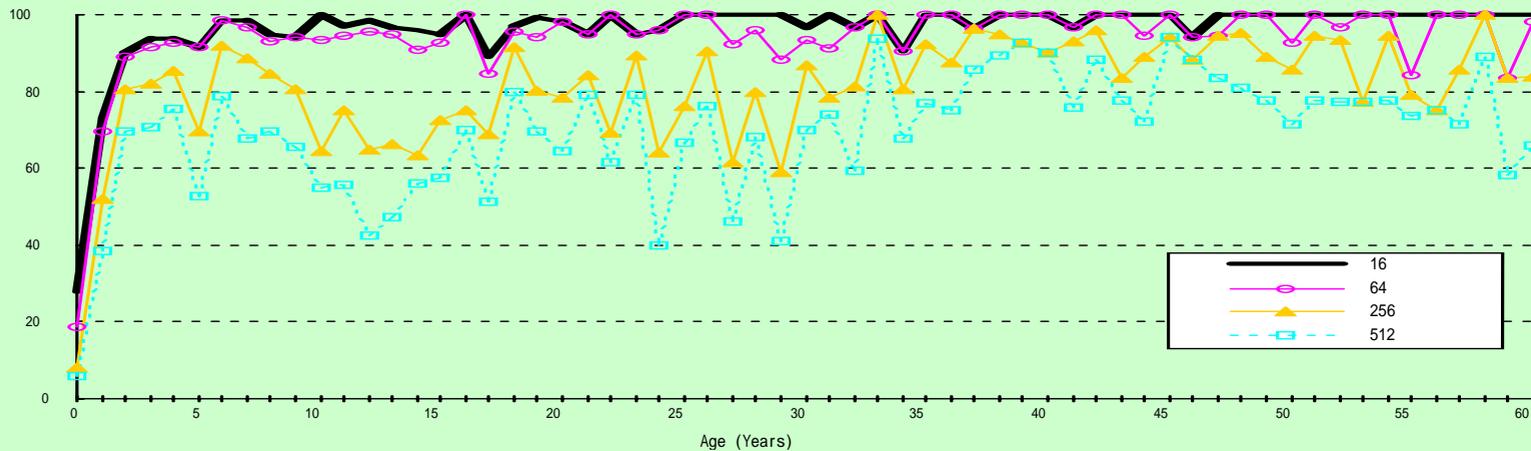
図1.年齢別 麻疹PA抗体保有状況 2001年
Fig.1 Age distribution of measles PA antibody



- 1歳児の麻疹抗体保有（PA抗体価16以上）率は43.9%と極めて低い
- 2歳児で約85%、3歳児で約90%、その後60歳以上までほぼ横ばい
- 成人麻疹で最も患者報告が多い10-14歳の抗体保有率は95.9%であった。
- 10歳代、20歳代の3-4%が麻疹感受性者！！

わが国の健常人の麻疹PA抗体保有状況 (2002年度感染症流行予測調査より)

図1. 年齢別麻疹PA抗体保有状況, 2002年
Fig.1 Age distribution of measles PA antibody positives, 2002



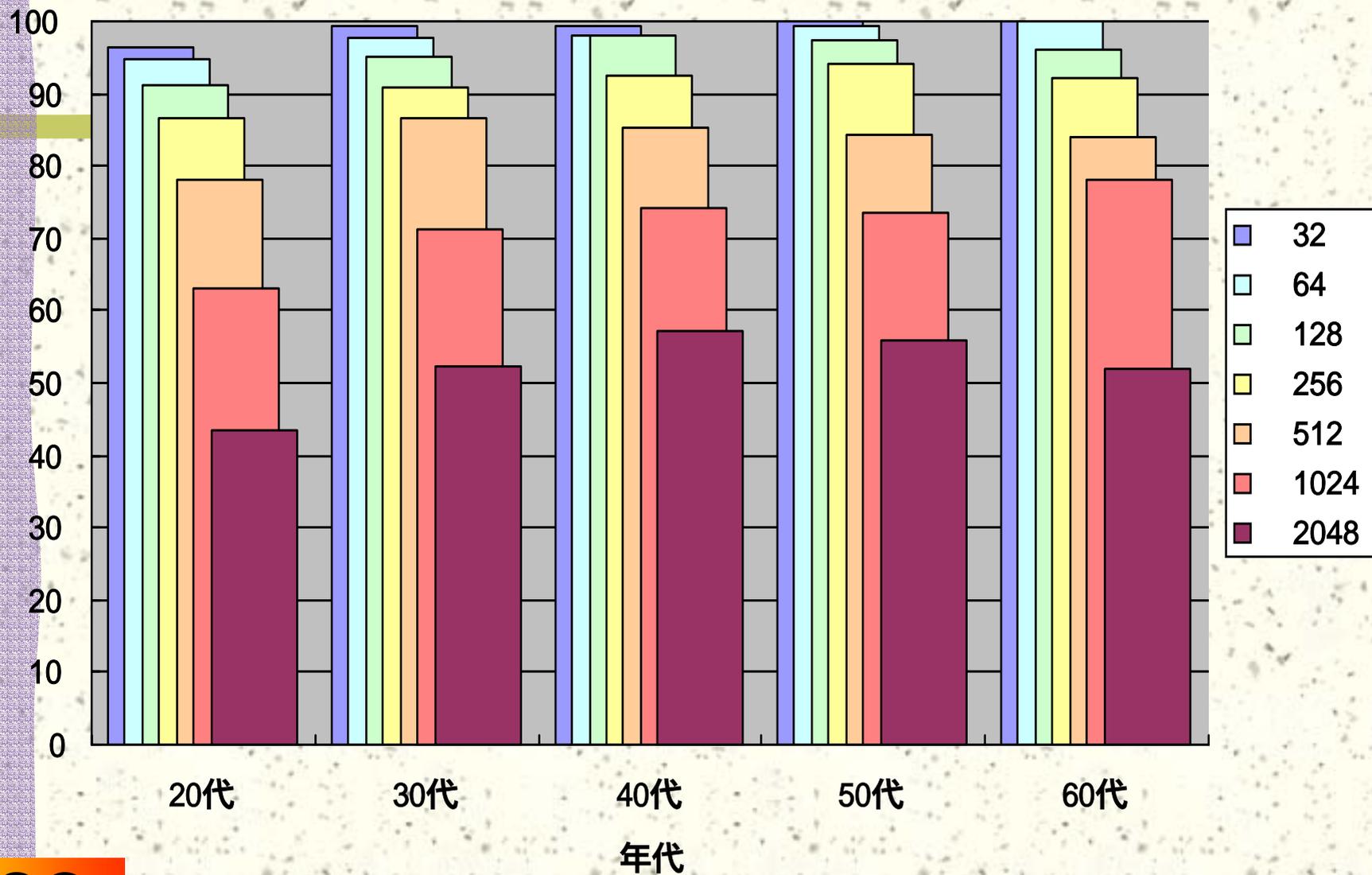
流行予測2002

1歳

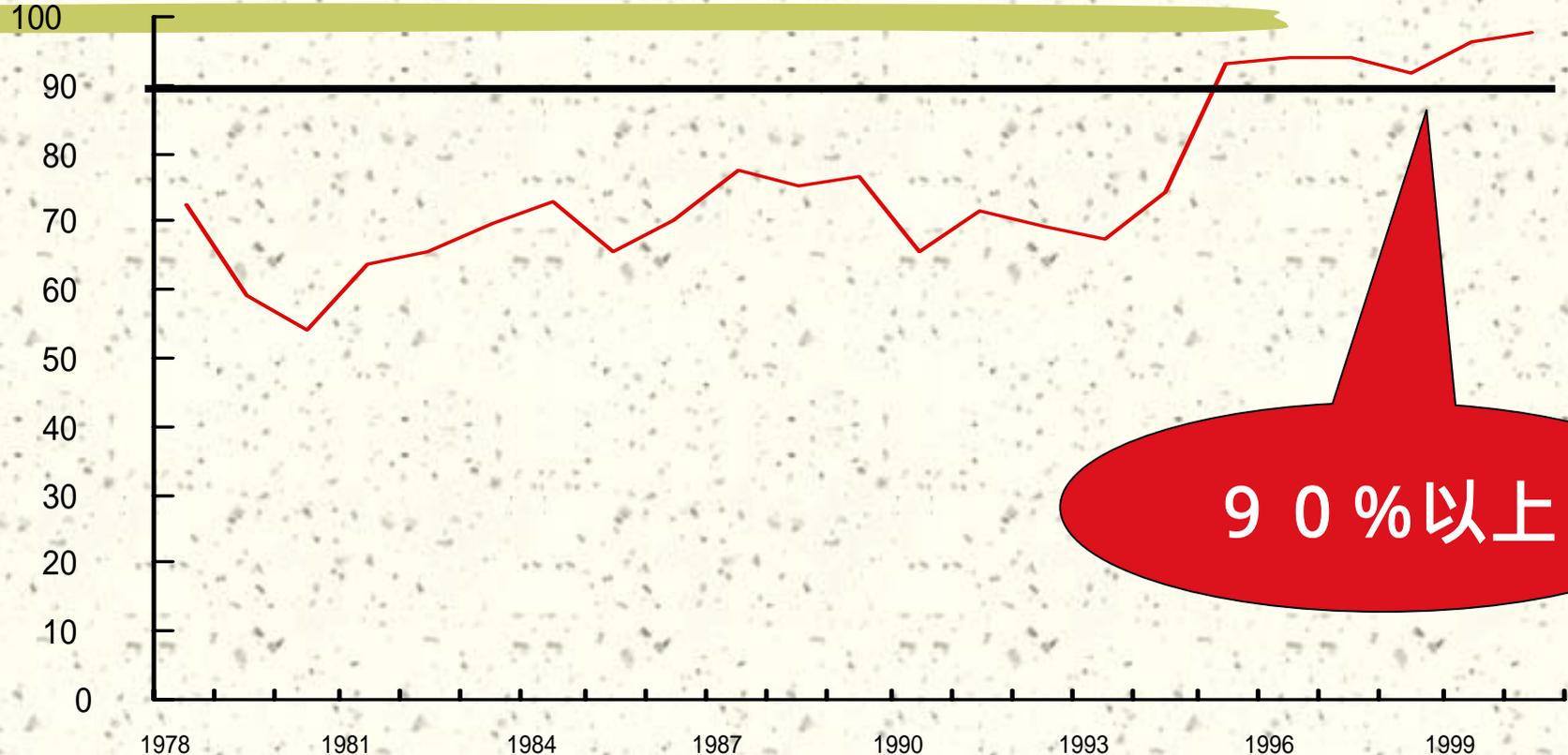
少し上昇!
でも
まだまだ・

IDSC

年代別麻疹PA抗体保有状況(2001年度感染症流行予測調査より)



麻しんワクチン実施率（％） 1978（昭和53）年～2000（平成12）年



厚生省（現 厚生労働省）

分子：定期接種として麻しんワクチンを受けた人口

分母：1歳児人口

ワクチン接種率2001年

(予防接種研究班by Dr. Isomura)

	接種率
DPT 初回接種	85.1%
DT 11-12歳	76.7%
ポリオ(生後3-90 か月)	86.0%
麻疹(生後12-90 か月)	81.1%
風疹(生後12-90 か月)	71.2%
風疹(中学生)	55.8%
日本脳炎初回接種	76.4%
日本脳炎追加接種	71.8%

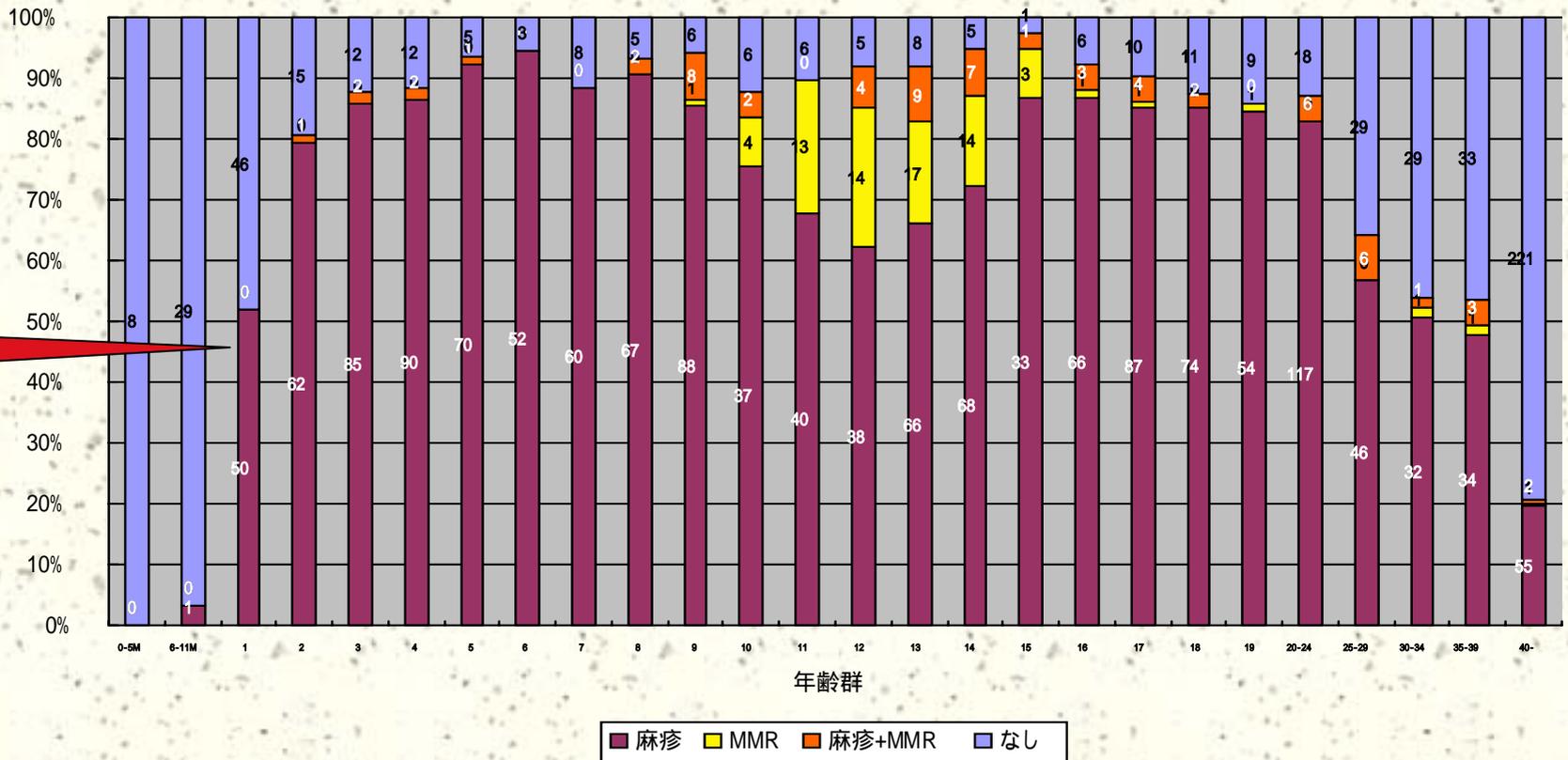
感染症流行予測調査から得られた 予防接種歴

(次からのグラフの色に相当、不明(黒)は除く)

- 麻疹ワクチン(+)かつMMRワクチン(+)
- 麻疹ワクチン(+)かつMMRワクチン(-)
- 麻疹ワクチン(+)かつMMRワクチン不明
- 麻疹ワクチン(-)かつMMRワクチン(+)
- 麻疹ワクチン(-)かつMMRワクチン(-)
- 麻疹ワクチン(-)かつMMRワクチン不明
- 麻疹ワクチン不明かつMMRワクチン(+)
- 麻疹ワクチン不明かつMMRワクチン(-)
- 麻疹ワクチン不明かつMMRワクチン不明

麻疹ワクチンMMRワクチン接種率、2001年度 計2,156名

麻疹ワクチンMMRワクチン接種率、2001年度 計2,156名

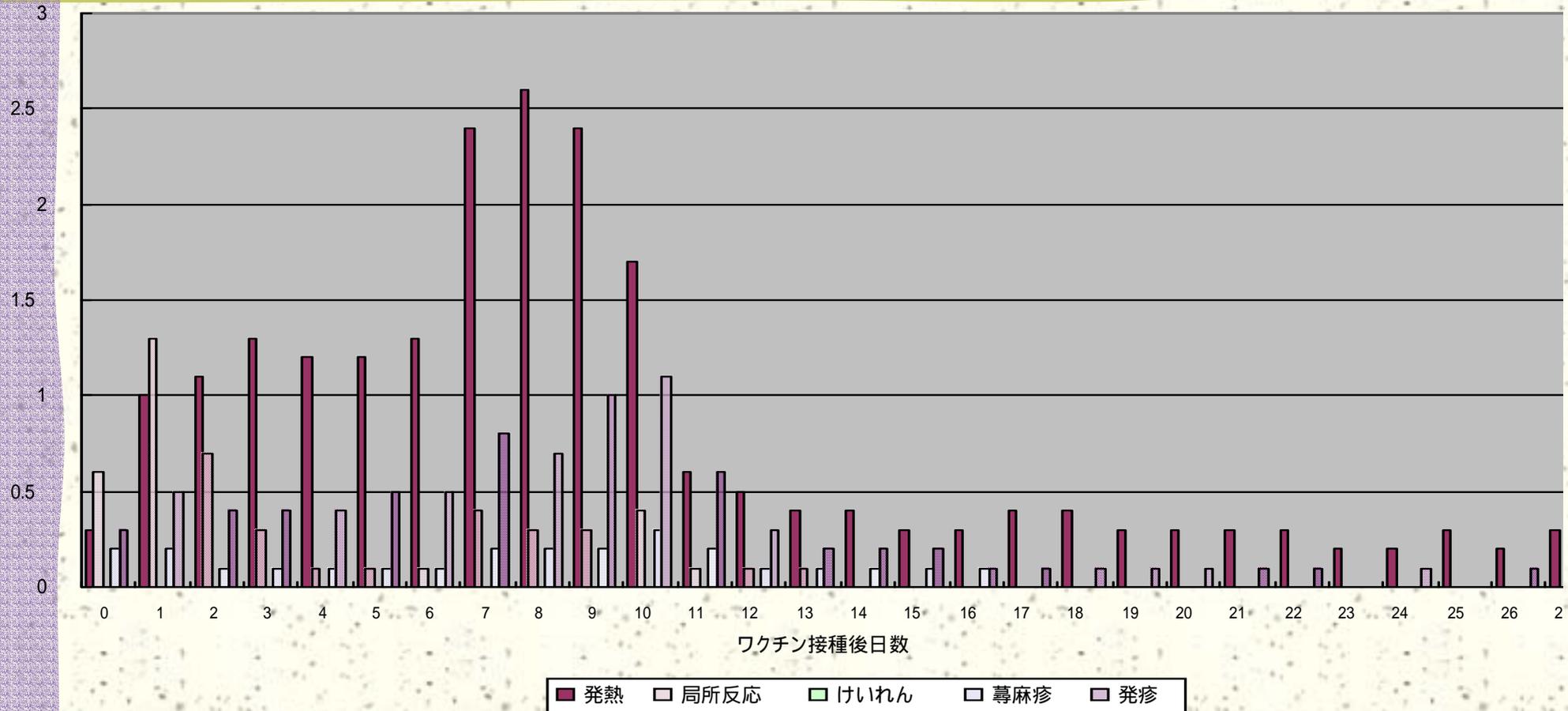


1歳

IDSC

1歳児の52%しか麻疹ワクチンを受けていない！

麻しんワクチン後健康状況調査累計報告 1996(平成8)～2000(平成12)年度



今すぐに、したいこと・・・

麻しんワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう！

- 1. 1歳での定期接種の徹底：接種率を95%以上にする
- 2. 外来受診者のワクチン接種歴確認：1歳以上には接種勧奨
- 3. 1歳6か月、3歳児健診等で、接種もれ者をチェック：接種もれ者には定期接種
- 4. 小学校入学前に接種もれ者をチェック：接種もれ者には定期接種
- 5. ハイリスク成人（小児との接触が多い、医療関係者など）へ任意接種
- 6. 2回接種導入への検討

緊急情報

重症急性呼吸器症候群
【SARS】

キャンペーン

風疹の予防接種

▶ ENGLISH



Epi Info

Epi Info 2002
ダウンロード

国立感染症研究所
感染症情報センター

新掲載

新掲載

トピックス

インフルエンザなど

センター紹介

情報センター紹介

IDWR

感染症発生動向調査週報

IASR

病原微生物検出情報月報

免疫状況

感染症流行予測調査

世界

海外感染症情報

耐性菌

薬剤耐性菌情報

人獣感染

人獣共通感染症

各論

感染症各論

地域保健

地域保健

予防接種

予防接種

JANIS

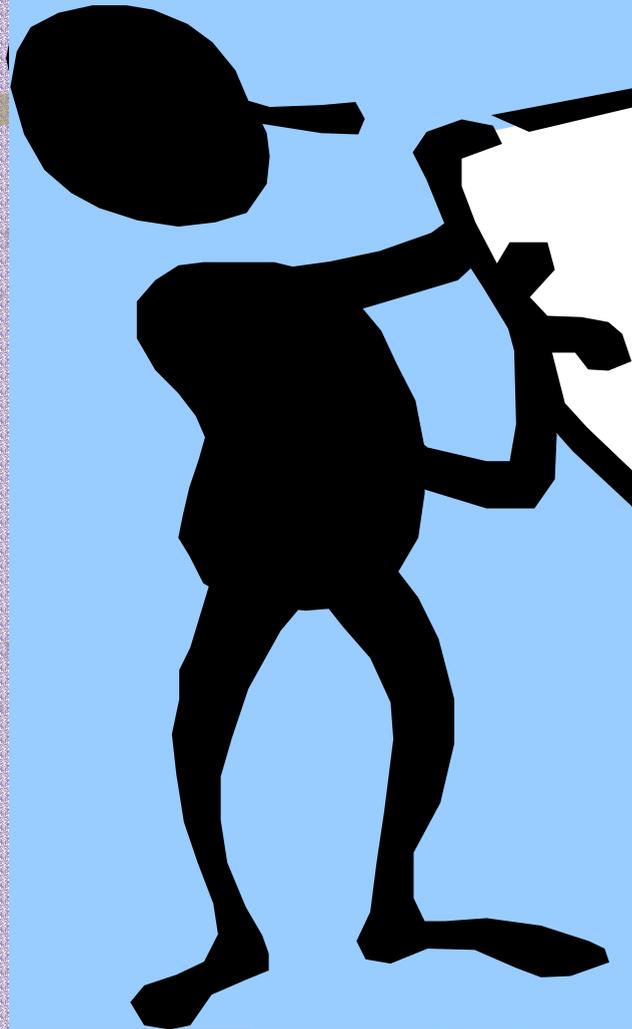
院内感染対策
サーベイランス

FETP-J

実地疫学養成コース

旅行医学

マラリア、リンク集



どうもありがとうございました。